

時流を捉えた園児募集の最新手法をご紹介します！

オンライン開催 ご都合のつくいい日程を選択して、WEB受講が可能です

講座内容 & スケジュール

WEB
開催

11月12日(水)13日(木)14日(金)

開催時間 13時-15時開催 (ログイン可能時間12時30分-)

受講料

一般価格 税抜10,000円(税込11,000円) / 一名様 会員価格 税抜10,000円(税込11,000円) / 一名様

講座 講座の内容

第一講座

園児募集のこれまでの変遷

幼稚園、認定こども園における園児募集のこれまでの手法について振り返りを行い、今後の園児募集の取り組みについて解説します。

株式会社船井総合研究所 齋藤 拳



第二講座

こども誰でも通園制度×未就園児教室の事例紹介

こども誰でも通園制度と未就園児教室を活用した最新事例について解説します。

株式会社船井総合研究所 リーダー 居村 朋哉



第三講座

こども誰でも通園制度を上手に活用するために

未就園児教室とこども誰でも通園制度自園で活用するために、これから取り組むべきことについて解説します。

株式会社船井総合研究所 リーダー 居村 朋哉



講師紹介



株式会社船井総合研究所
リーダー 居村朋哉

東京理科大学理学部数学科卒業後、船井総合研究所に入社。在学中に中学校・高校の数学の教員免許を取得。子ども・子育て支援新制度開始移行、認可保育所向け認定こども園移行サポートを中心にコンサルティングサービスを提供している。地方自治体への支援実績も多数あり、日頃のコンサルティングで培った各園の経営上の課題やニーズ、成功事例等をもとに、地方自治体が抱える課題の解決に向けたサポートを実施している。



株式会社船井総合研究所
齋藤 拳

日本大学経済学部を卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。在学中は経済学を専攻し、経済理論を学びつつさまざまな業界の経済的現象を分析し、産業の実態や企業の戦略について研究をおこなってきた。入社後は幼稚園・認定こども園の運営安定化の支援や認定こども園移行のサポートを担当。WEB広告を活用した園児募集のサポートや、公定価格の試算ソフトを活用した収支シミュレーションの作成、そのほか公定価格や処遇改善等加算など加算に関するサポートに従事している。

WEB開催
2時間

まだ様子見しますか？ 地域一番園になりますか？
2026年、「誰通」で園の未来は大きく変わります。

園児募集のための こども誰でも通園制度 活用の極意

誰通がなぜ園児募集に有効なのか？

- ✓ 既存の未就園児教室をそのまま応用できる可能性が高いため
- ✓ 補助金を活用して園児募集ができるため
- ✓ これまで接点を持つことが難しかった家庭と接点づくりができるため
- ✓ 未入園の保護者と公的事業を介して接点づくりができるため
- ✓ 行政が整備している受付システムを活用し、事務負担を軽減できるため
- ✓ 園の理想とする形で制度を活用することができる可能性が高いため

具体的な仕組みづくりは中面で解説！▶▶▶

オンライン開催 ご都合のつくいい日程を選択して、WEB受講が可能です

2025年

開催時間

13時-15時開催 (ログイン可能時間12時30分-)

11月12日(水)13日(木)14日(金)

主催

こども誰でも通園制度×未就園児教室活用セミナー

お問い合わせNo. : S133521

サステナブルな成長を促す。Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。船井総研ホームページ<https://www.funaisoken.co.jp> (右上検索窓に「お問い合わせNo.」をご入力下さい)

133521



申込方法は、右記QRコードまたは、<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/133521> からどうぞ

銀行振込み：開催日6日前まで クレジットカード：開催日4日前まで

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000 (平日9:30~17:30)

誰通を活用してこれまでアプローチできなかった層への認知が取れる！

未就園児教室の募集
が年々減少している

新しい施策を打って
も効果が出ない

1歳児向けの施策を
検討している

制度理解の時間が無
く実施を迷っている

近隣園に事例が無く
困っている

本当にニーズがある
かわからない

上記に当てはまる場合、制度理解・母集団形成・定着化で園児募集の壁を乗り越えましょう！

園の大きな負担にならず、従来顧客にならなかった層を募集できる秘訣

【2026年度から本格実施】今から準備を始める園が成功します。待機児童数が過去最少となった2025年、各自治体は幼稚園が認定こども園に移行することで発生する便益と財政負担を鑑みて、以前より認定こども園移行への意欲は確実に低下しています。加えて、4月時点の定員充足率は年々減少し、0歳児の充足率は年々減少しています。持続的な経営を行うためにも、誰でも通園制度を理解し活用することで、園児募集に正面から向き合い、解決に向けた取り組みを始めましょう。

STEP1

こども誰でも通園制度の制度概要を理解する

制度理解

制度が補助事業である以上、制度理解は不可欠です。どのような仕組みで制度が成り立っているのか？なぜ巷では収益が全くでないといわれているのか？自園においても収益が悪いのか？これらを解消するために、まずは制度の全体像を理解しましょう。

■補助単価

年齢	単価 [単位：円/時間]
2歳児	900円
1歳児	1,100円
0歳児	1,300円

※別途、障害児、医療的ケア児童、要支援家庭を受け入れる場合は時間単価の加算あり

■職員配置

- 保育士
- 子育て支援員（一時預かり事業または、地域型保育の研修修了者）
- 家庭的保育事業に関する該当研修修了者

■配置基準

- 乳児：おおむね3人につき1人
- 満1歳以上児満3歳未満児：おおむね6人につき1人

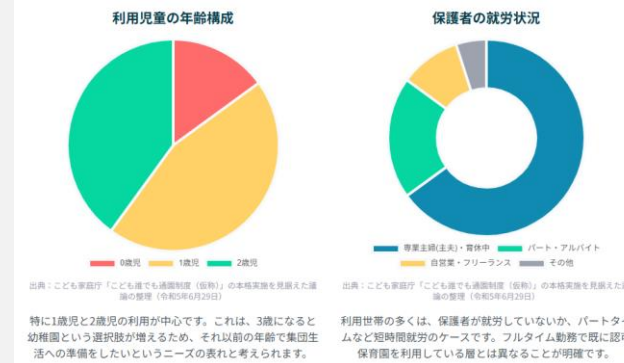
こども家庭庁 こども誰でも通園制度に関する実施要項及び通知
<https://www.cfa.go.jp/policies/hoiku/daredemo-tsuen>

STEP2

母集団形成

従来の園児募集ではアプローチできなかった層の獲得へ

誰通と未就園児教室は、園による考え方の違いはありますが、入園者確保の取組という点では共通しています。制度の利用対象者もほぼ同じであるため、これまで認知がされていなかった層へも効果的にアプローチでき、入園見込み者となる母集団形成の大きな一助となります。



左図からもわかるように、誰通を活用している児童の構成や保護者の就労状況は、従来の幼稚園希望者であることは明白です。また0歳児の段階で園に預けず1歳児から預けることを想定している家庭が多いことを勘案すると、0歳児のニーズも一定程度あることがわかります。制度を活用し、未就園児教室や満3歳児入園、0歳児入園の母集団形成を行いましょう！

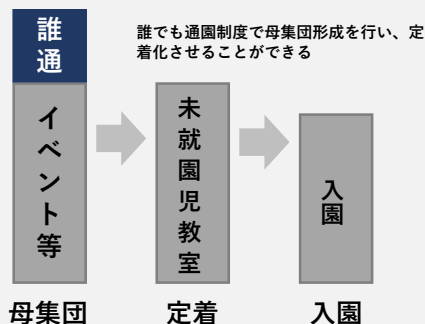
STEP3

誰通を経由して接点を構築後、定着化の仕組みを構築する

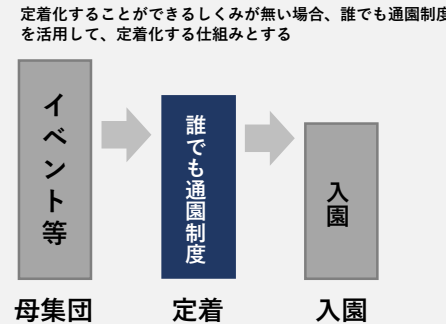
定着化

入園目的で「誰通」を実施しても、それだけでは入園に繋げるのは正直難しいです。「誰通」で母集団形成後、定着化のため高頻度の未就園児教室を行うのが有効です。また既存の仕組みでは開催頻度が低い場合は、誰通を活用した高頻度の施策を検討することが肝要です。

■高頻度未就園児教室あり



■高頻度未就園児教室なし



これまで取組んできた募集活動を時流に合わせた誰でも通園制度に！

制度理解・母集団形成・定着化を活用したこども誰でも通園制度活用前後の変化

Before

- 他園の話や噂話を基に判断し、具体的な制度の詳細を知っていない状態
- 年々増加する保育需要を捉えることができず未就園児教室の微減が毎年止まらない
- 月に1度しか未就園児教室を行っておらず、入園率が50%以下だった

After

- 制度を正しく理解し、自園の形にあったこども誰でも通園制度の形を見つけ、募集改善ができた！
- こども誰でも通園制度によって、従来認知できなかった層へアプローチすることができた
- こども誰でも通園制度を活用し、園に来る頻度を上げることで、入園率を向上することができた！

誰通を活用して園児募集をアップデート！ 詳細はセミナーで！